

同 志 社 大 学

2015 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2016 年 2 月 16 日提出

所 属	職 名	氏 名
政策学部	教授	太田肇
研 究 題 目	第 3 次産業における承認のリテンションならびに生産性向上効果の実証研究	
研 究 成 果 の 概 要	<p>近年比重を増している第 3 次産業において、承認のリテンションならびに生産性向上効果の実証研究を行った。</p> <p>まず国内外の企業(日本企業および海外企業)、行政機関などを訪問し、従業員を承認するさまざまな取り組みについてヒアリングや観察調査を行った。</p> <p>また企業や非営利組織において、従業員の承認を行う研究プロジェクトを計画中である。</p> <p>現時点において判明したことは、従業員をカードやメール、口頭などで承認する企業、表彰制度を取り入れる企業等が増えていること、そしてそれを実践したところでは従業員のモチベーションが上がったこと、満足度が高まったことなどである。</p> <p>現在進行中の研究プロジェクトについては引き続き進行するとともに、新たな対象についても同様の実証研究を行っていく予定である。</p> <p>現段階における研究成果については、学内外の研究会等において口頭で報告した。また、企業や病院、福祉団体などを対象にした講演や雑誌への投稿を通して、その効果を報告している。</p>	